

東京マックス美容専門学校

通信課程 美容科

シラバス

2023年度

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	1・2・3年
授業科目名	関係法規・制度	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	10
授業の到達目標 及びテーマ	美容師の業務に関する衛生及び消費者保護の法規・制度について正しい理解と知識の習得。美容の業務に関する規定内容を正確に理解すると共に、美容業を行う場合の指針として有する意義を把握する。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 関係法規・制度 美容師法関係法令集		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会生活における法の役割 ・ 法の形式 ・ 衛生法規の概要 ・ 理容師法・美容師法と附属法令 ・ 衛生行政の概要 ・ 衛生行政の意義と歴史 ・ 衛生行政の分類と生活衛生行政の内容 ・ 衛生行政を担う行政機関 ・ 理容師法・美容師法 用語の定義 ・ 人（理容師・美容師）に関する規定 ・ 施設（理容所・美容所）に関する規定 ・ 立入検査と環境衛生監視員 違反者等に対する行政処分 ・ 罰則 ・ 理容業・美容業の運営に関する法律 ・ 理容業・美容業の衛生に関する法律 ・ 理容業・美容業の顧客に関する法律 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	社会科教員の経験を活かし、社会と美容師、法律との関係の理解を深める 授業を展開する。		
担当教員	担当時間数		実務教員
乙川 博	元私立桜丘中学・高等学校社会科教諭、校長		担当時間数
			10

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	2・3年
授業科目名	衛生管理	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	30
授業の到達目標 及びテーマ	美容師が公衆衛生にどのように関わり公衆衛生の維持と増進を担わなければならない理由を十分に理解する。美容師の業務内容と感染予防、環境衛生の保持との具体的な関連付けを学び、美容における衛生措置の重要性について理解する。消毒法において、その意義と原理を十分に理解し、適正な実施方法を身につける。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 衛生管理		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理容師・美容師と公衆衛生 ・ 保健所と理容業・美容業 ・ 予防医学と保健 ・ 公衆衛生と統計 ・ 保健 ・ 環境衛生 ・ 衛生害虫とネズミ ・ 公害と環境保全 ・ 理容所・美容所の環境衛生 ・ 理容所・美容所の衛生管理 ・ 衛生的取り扱い ・ 消毒とは ・ 消毒の意義 ・ 理容・美容の業務と消毒との関係 ・ 理学的消毒法(殺菌法) ・ 化学的消毒法(殺菌法) ・ 各種消毒薬 ・ 理容所・美容所の消毒の実際 ・ 人と感染症 ・ 病原微生物 ・ 感染症の予防 ・ 理容・美容と感染症 ・ 主な感染症 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	担当教員は実務経験を活かし、必要な消毒方法を学習していく。 また、美容師は公衆衛生に大きく関わっていることを伝え、感染症の理解を深めた上、予防衛生への理解を深める。		
担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
藤原 博	フジケミカル株式会社(医薬部外品、化粧品メーカーにて医療機器製造責任技術者)、学校法人昭和大学兼任講師,(有)フジメディコム代表取締役(管理薬剤師)	○	
福村 基徳	学校法人昭和大学での助教授、薬剤師(保健調剤薬局での調剤や服薬指導などで従事。衛生管理や、人体への影響などに配慮をしながら勤める)	○	30

海老沢幸子	元株式会社マクスラシステムズサイエンス事業部事業部長、菱化ケミカルシステム株式会社（創薬に携わり、化学や人体への知識や衛生の知識が必要とされていた）	○	
鈴木 亮馬			

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	2・3年
授業科目名	保健	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	25
授業の到達目標 及びテーマ	人体について、皮膚及び毛髪などの皮膚付属器官の構造と機能に関する知識を習得する。美容の業務を安全かつ効果的に行うために、皮膚、毛髪などに関する正確な科学的知識を理解する。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 保健		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 皮膚の構造 ・ 皮膚付属器官の構造 ・ 皮膚の循環器系と神経系 ・ 皮膚と皮膚付属器官の生理機能 ・ 皮膚と皮膚付属器官の保健 ・ 皮膚と皮膚付属器官の疾患 ・ 人体の構造および機能 ・ 細胞と体液 ・ 骨格器系 ・ 筋系 ・ 神経系 ・ 感覚器系 ・ 循環器系 ・ 呼吸器系 ・ 消化器系 ・ 泌尿器系 ・ 内分泌器系 ・ 環境と生体 		
成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	皮膚、毛髪などの講義に関する内容は、美容業務との関連づけながら進める。担当教員はその経験から、皮膚、毛髪の保健衛生と、衛生管理を関連させながら進める。		
担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
海老沢幸子	元株式会社マクスラシステムズサイエンス事業部事業部長、菱化ケミカルシステム株式会社（創薬に携わり、化学や人体への知識や衛生の知識が必要とされていた）	○	25
福村 基徳	学校法人昭和大学での助教授、薬剤師（保健調剤薬局での調剤や服薬指導などで従事。衛生管理や、人体への影響などに配慮をしながら勤める）	○	
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー	○	
蓼沼佳代子			

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	2・3年
授業科目名	香粧品化学	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	30
授業の到達目標 及びテーマ	香粧品の科学的知識と正しく使用するための取り扱い方法を学び、香粧品による危害を防止するための知識を身につける。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 香粧品化学		
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 香粧品の規制 ・ 香粧品の安定性と取り扱い上の注意 ・ 香粧品と安全性 ・ 香粧品用原料 ・ 香粧品の対象となる人体各部の性状 ・ 水性・油性原料 ・ 界面活性剤 ・ 高分子化合物 ・ 色材 ・ 香料 ・ その他の配合成分 ・ ネイル、まつ毛エクステンション用材料 ・ 基礎香粧品 ・ 皮膚清浄用香粧品 ・ 化粧水 ・ クリーム・乳液 ・ その他の基礎香粧品 ・ メイクアップ用香粧品 ・ ポイントメイクアップ香粧品 ・ 頭皮・毛髪用香粧品 ・ シャンプー剤 ・ スタイル剤 ・ パーマ剤 ・ ヘアカラー ・ 育毛剤 ・ 芳香製品 ・ 特殊香粧品 		
成績評価方法	<p>筆記試験で判定</p> <p>試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。</p> <p>(満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする)</p> <p>及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。</p>		
授業の特徴	美容業界で使用されている香粧品についてその有用性や危険性などを学び、実践で顧客に対してアドバイスができる知識を会得する		
担当教員	担当時間数		実務教員
馬上 美雪	元日体荏原高等学校の教員		30
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー		

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	2・3年
授業科目名	文化論	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	10

授業の到達目標 及びテーマ	美容業として必要な優れた表現力を身につけるために必要な美的感覚を身につけ、芸術的な表現力を美容技術とあわせて養う。
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 文化論
授業計画及び 学習の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の美容業の歴史 美容業の発生 江戸時代の美容業 近代の美容業 現代の美容業 日本の理容業・美容業の歴史年表 ・ ファッション文化史日本編 縄文・弥生・古墳時代 古代（飛鳥・奈良・平安時代） 中世（平安末・鎌倉・室町・戦国時代） 近世I（戦国末・安土桃山時代） 近世II（江戸時代） 近代（明治・大正・昭和20年まで） 現代（1945年～1950年代） 現代II（1960年代～1970年代） 現代III（1980年代～1990年代） 現代IV（2000年代以降） ・ ファッション文化史西洋編 古代エジプト 古代ギリシャ・ローマ 古代ゲルマン 中世ヨーロッパ 近世I（16世紀） 近世II（17世紀） 近世III（18世紀） 近代I（18世紀末～19世紀初め） 近代II（19世紀） 現代I（1910年代～1920年代） 現代II（1930年代～1940年代前半） 現代III（1940年代後半～1950年代） 現代IV（1960年代） 現代V（1970年代） 現代VI（1980年代） 現代VII（1990年代～2010年） ・ 礼装の種類 和装の礼装 洋装の礼装 ・ ファッションの造形原理

	<p>ファッションとは 理容・美容とデザイン 色彩のコーディネート</p>		
成績評価方法	<p>筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。</p>		
授業の特徴	<p>芸術の観点から美容の文化が時代とともに変化し現代へと繋がるデザインの変遷を学ぶ</p>		
担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
蓼沼佳代子			10
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー		

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	1・2・3年
授業科目名	美容技術理論	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	10
授業の到達目標 及びテーマ	美容の業務を安全かつ効果的に行うため、美容器用具の正しい取り扱いの方法と美容の基礎的技術を理解する。優れた美容技術を身につけるために、土台となる確かな基礎技術の方法を学ぶ。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 美容理論と美容技術 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称 ・ 美容用具 美容技術における用具、コーム、ブラシ、シザーズ、レザー、ピン類、ヘアクリップ、ロッド、ローラー、ヘアアイロン、ヘアドライヤー、ヘアスチーマー、遠赤外線機 ・ シャンプー サイドシャンプー、バックシャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント、スカルプトリートメント シャンプー剤の構成成分 ヘアトリートメント剤の構成成分 ・ ヘアデザイン 美容とデザイン ・ ヘアカットイング シザーズとレザーの扱い方 ヘアカットイングの基礎理論 ベーシックなカット技法 シザーズ、レザーによるカット技法 ・ パーマネントウェーピング パーマネントウェーブの理論 パーマ剤の分類 パーマ剤に関する注意事項 パーマネントウェーブ技術 縮毛矯正 ・ ヘアセッティング ヘアパーティング、ヘアシェーピング ヘアカーリング、ヘアウェーピング、ローラーカーリン ブロードライ、アイロンセッティング バックコーミング、アップスタイル ヘアセッティングの応用 ・ ヘアカラーリング ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴 染毛のメカニズム 色の基本 毛髪のレベルとアンダートーン パッチテスト（皮膚貼布試験） 染毛剤使用時の注意事項 		

<p>授業計画及び 学習の内容</p>	<p>ヘアカラーリングの道具 酸化染毛剤（アルカリ性タイプカラー）の技術手順 酸性染毛料の技術手順</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エステティック <p>皮膚の生理と構造 カウンセリング、美容におけるマッサージ理論 フェイシャルケア技術、フェイシャル及びデコルテマッサージ フェイシャルパック、ボディケア技術、ボディマッサージ</p> ・ ネイル技術 <p>ネイル技術の種類 爪の構造と機能 爪のカット形状 ネイル技術と公衆衛生 カウンセリング ネイルケア アーティフィシャルネイル 手と足のマッサージ</p> ・ メイクアップ <p>メイクアップ概論 フェイスプロポーション 色彩について パーソナルカラー 用具の種類と消毒方法 ブライダルメイクアップ 肌質別修正メイクアップ まつ毛エクステンション</p> ・ 日本髪 <p>各部と名称、種類と特徴 装飾品、結髪道具 結髪技術、手入れ</p> ・ 着付けの理論と技術 <p>着付けの目的、着物のいろいろ 礼装、着物と季節 帯、小物、着物各部の名称 着物のたたみ方 留袖、振袖の着付け技術 帯締め、帯揚げの結び方 男子礼装羽織、袴着付け技術 女子袴の着付け技術 婚礼着付けの際の注意事項 和装花嫁、洋装花嫁</p>
<p>成績評価方法</p>	<p>筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする） 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。</p>
<p>授業の特徴</p>	<p>講義の内容は、美容実習、メイク、ネイルの授業と連動して、技術を裏打ちするための知識を学ぶ。</p>

担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
蓼沼佳代子			
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン (美容室)	○	
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ツルミ美容院	○	
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー	○	
五十嵐 ゆかり	ネイルサロン ネイルルポ開設、資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店勤務	○	
二面 望	元有限会社ラバンス ジャンクロードピギン三軒茶屋店 (美容室)	○	

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	2・3年
授業科目名	運営管理	科目区分	必修
授業形態	講義	時間数	5
授業の到達目標 及びテーマ	経営管理及び労務管理の基本的事項を学習することによって、美容業における運営管理手法の重要性を認識させる。運営において、適切な接客態度の重要性と消費者対応の基本を学び、実践する能力を身につける。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 運営管理		
授業計画及び 学習の内容	<p>接客</p> <p>仕事をすること 現場が求める人 よい社会人であるために お客さまを考える お客さまに接すること 接客の役割と基本 接客者の心構え 接客の計画・実践 計画の必要性 接客の環境づくり 接客の範囲 接客の流れとポイント 接客の場で起こる問題 接客で発生が予想される問題 問題への対処</p> <p>経営戦略・マーケティング</p> <p>経営戦略</p> <p>経営戦略の基礎</p> <p>経営者としての感覚を養う</p> <p>競争の現状</p> <p>「世の中」についての知識</p> <p>マーケティング</p> <p>価値を形にしていく</p> <p>マーケティング・ミックス</p> <p>価格の役割</p> <p>お客さまのための窓口（インターフェイス）</p> <p>お客さまとの対話（情報発信）</p> <p>お客さまとの対話（お客さまの意見を聞く）</p> <p>物的要因</p> <p>インターネットの活用</p> <p>サービスをシステム化していく</p> <p>海外の理容・美容</p> <p>社会人としての義務</p> <p>給与明細から</p> <p>自己管理・将来設計</p> <p>健康管理</p> <p>理容所・美容所の特性</p>		

	<p>健康に影響を及ぼすさまざまな危険 作業と体調 こころの問題 アレルギーについて 理容師・美容師に多い健康上の問題 環境と健康</p>											
成績評価方法	<p>筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。</p>											
授業の特徴	<p>マーケティングから顧客の対応、管理まで一般的な対応から美容の仕事に対応したサロンの運営方法を学ぶ</p>											
担当教員	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>担当時間数</th> <th>実務教員</th> <th>担当時間数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村岡 克朗</td> <td>元ジェイアール東日本レンタリース株式会社、経理</td> <td>○</td> <td rowspan="2">5</td> </tr> <tr> <td>徳永保裕</td> <td>元株式会社アートネイチャー</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		担当時間数	実務教員	担当時間数	村岡 克朗	元ジェイアール東日本レンタリース株式会社、経理	○	5	徳永保裕	元株式会社アートネイチャー	
	担当時間数	実務教員	担当時間数									
村岡 克朗	元ジェイアール東日本レンタリース株式会社、経理	○	5									
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー											

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	1・2・3年
授業科目名	美容実習	科目区分	必修
授業形態	講義・実技	時間数	175
授業の到達目標 及びテーマ	美容の業務を安全かつ効果的に実施する技術を習得するため、基本的操作を確実にこなせる技術を身につける。お客様の要望に応じた美容技術を確実に提供できるよう総合的な技術の基礎を身につける。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論		
授業計画及び 学習の内容	<p>1年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヘアカット ワンレングスカット、セイムレングスカット ・ ロッドワインディング（オールパーパス） コームの持ち方、使い方、ブロッキングの取り方、スライスの取り方、ベースの取り方、ストランドの角度と巻きおさまり、毛先の処理とロッドの当て方、輪ゴムのかけ方、アップシェープの巻き方、ダウンシェープの巻き方、スライスと目の位置、ワインディングの巻き順、ワインディング練習による巻きあがり時間の短縮 ・ ヘアカラーリング 塗布技術とコームテクニック、白髪染めの仕方、おしゃれ染めの仕方 ・ ヘアセッティング（アップスタイル） バックコーミング、すき毛の使い方、ヘアピンの種類と使い方、編み込み・ねじりの種類と作り方 アップスタイルを作る ・ シャンプーイング ネックタオルの付け方、シャンプークロスの付け方、ターバンの巻き方、サイドシャンプー実習、スプレヤーの持ち方、髪の毛の濡らし方・すすぎ方、シャンプーイングの手技、 ・ パーマネントウェーピング コールド・ウェーブパーマ液の使い方、ウィッグにパーマをかけてみる ・ オリジナルセット（国試スタイル）練習 フィンガーウェーブの作り方、スカルプチュアカールの作り方、国試スタイルの構成練習 <p>2年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ロッドワインディング（国試スタイル） ブロッキングの仕方、国試スタイルの構成練習 ・ オリジナルセット（国試スタイル）練習 リフトカールの作り方、メイポールカールの作り方、国試スタイルの構成練習 ・ ヘアカット（国試スタイル） ブロッキングの仕方、カットの手順、カット方法、カット練習 		

成績評価方法	筆記試験で判定 試験において満点の6割以上の点数で及第点とする。 (満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、 6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする) 及ばない場合は再試験を受け、その結果により評価する。		
授業の特徴	美容理論の内容をベースに知識だけではなく、実践していくためのトレーニングを行う。		
担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
蓼沼佳代子			
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン (美容室)	○	
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ツルミ美容院	○	
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー	○	
五十嵐 ゆかり	ネイルサロン ネイルルポ開設、資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店勤務	○	
二面 望	元有限会社ラバンス ジャンクロードビギン三軒茶屋店 (美容室)	○	

東京マックス美容専門学校

開講課程	通信課程	開講学科	美容科
開講年度	2023	対象年次	1・2年
授業科目名	美容総合技術	科目区分	選択必修
授業形態	講義・実技	時間数	5
授業の到達目標 及びテーマ	美容技術の基礎からさらに幅を持たせ、様々な顧客のニーズに合わせた施術を行うための技術と知識を身につける。		
使用教材	発行 公益社団法人 日本理容美容教育センター 美容技術理論 他各時間にてプリントを配布		
授業計画及び 学習の内容	<p>1年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ メイクアップ スキンケア、ベースメイクアップ、アイメイクアップ、アイブロウメイクアップ、リップメイクアップ、ブラッシュメイクアップ ・ 着付け 着物のたたみ方、留袖・振袖の着付け方、帯締め・帯揚げの結び方 ・ ネイルトレーニング ネイルケア ポリッシュオフ・ファイリング・クリーンナップ・カラーリング カットスタイルSIJファイリング、スクエア、スクエアオフ、ラウンド、オーバル、ポイント リペア&イクステンション ・ ウィッグを使用した作品創作 アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマの技術を使用して作品を作る ・ 相モデルによる作品創作 モデルを使用し、アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマ、ネイルの技術を使用して作品を作る <p>2年次</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ネイルトレーニング ネイルケア チップ&ラップ カラーリング ネイルアート ・ ヘアエクステンション ・ ヘアカラー おしゃれ染め ・ サロン実習 ・ ブロースタイリング ・ ウィッグを使用した作品創作 アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマの技術を使用して作品を作る ・ モデル使用による作品創作 モデルを使用し、アップスタイル、メイク、ヘアカラー、パーマ、ネイルの技術を使用して作品を作る 		

成績評価方法	提出物（2）、授業態度・取り組み方（3）、出席状況（5）で判定満点の6割以上の点数で及第点とする。 （満点～9割以上を5、9割未満～8割以上を4、8割未満～6割以上を3、6割未満～4割以上を2、4割未満を1とする）		
授業の特徴	美容業界の現場に寄り添った知識、技術を学び卒業後の業務に滞りなくは入れるきっかけを作る。		
担当教員	担当時間数	実務教員	担当時間数
蓼沼佳代子			
杉谷 聡雄	元株式会社ニックイン（美容室）	○	
遠山 則彦	元エクセル美容室	○	
鈴木 亮馬	元美容室中山	○	
遠山 千裕	元美容室SAKURA	○	
川畑希公代	元ツルミ美容院	○	
徳永保裕	元株式会社アートネイチャー	○	
五十嵐 ゆかり	ネイルサロン ネイルルゴ開設、資生堂美容室横浜ロイヤルパークホテル店勤務	○	
二面 望	元有限会社ラバンス ジャンクロードビギン三軒茶屋店（美容室）	○	